極東開発工業株式会社
日本トレクス株式会社
平成 25 年 2 月 28 日

がれきや災害廃棄物などを迅速かつ機動的に処理！
極東開発工業の破砕機と日本トレクスのトレーラがドッキング！

極東開発グループが日本初(※1)の「移動式破砕機」を新開発

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口 6 丁目 1 番 45 号　社長：筆谷 高明　特装車事業、環境事業、パーキング事業　等）は、グループ会社の日本トレクス株式会社（本社：愛知県豊川市伊奈町南山新田 350　社長：西川 柳一郎　トレーラ・トラックボディ等の製造、販売）と、「移動式破砕機」を共同開発いたしました。

「移動式破砕機」は、当社が 1971 年に発売し、現在まで全国各自治体のリサイクルプラントなどに 135 機におよぶ納入実績がある竪型破砕機「極東・トレマッシェ®」を、日本トレクスのトレーラに搭載した日本初（※1）となる製品で、災害復旧現場でのがれき処理作業や、最終処分場の掘り起こしごみ処理（※2）現場などでの活躍が期待される車両です。

通常は施設に固定設置される破砕機をトレーラに搭載し移動を可能にした画期的な新製品は、時間や場所に制約されることなく現場でごみの破砕を行うことが可能となるため、より迅速かつ効率的な処理作業を実現します。

極東開発グループでは、今後とも画期的な新製品開発を積極的に推進し、社会の多種多様なニーズに応えてまいります。

※1. 竪型高速破砕機を搭載した移動式破砕機。（2013 年 2 月現在 当社調べ。）
※2. 掘り起こしごみ処理 ：最終処分場に埋められたごみを一旦掘り起こした後、破砕・選別・焼却・再資源化などにより減量化した上で埋め戻す処理方法で、処分場の容量を確保する手段として注目されています。

「移動式破砕機（プロトタイプ）」

「移動式破砕機」の特長

①竪型破砕機「極東・トレマッシェ®」と周辺機器をトレーラに搭載

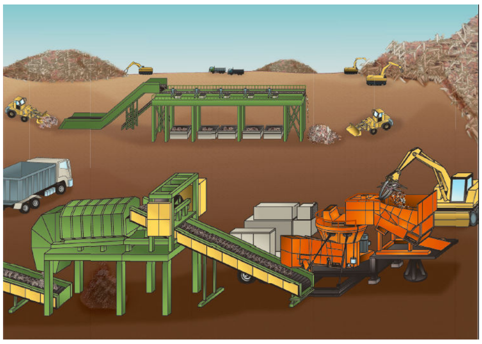
竪型破砕機「極東・トレマッシェ」と周辺機器をトレーラに搭載しているため、現場におけるごみ処理ライン設営時間の大幅な短縮を図ることができ、時間や場所に制約されることなく迅速な作業を行えます。

②外部電源が不要

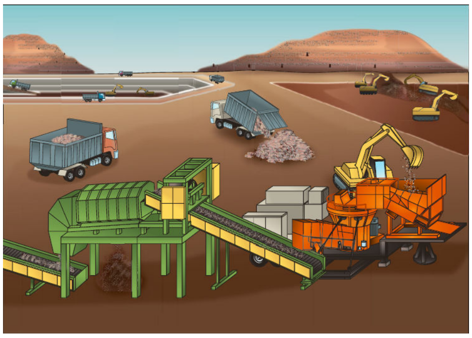
発電機を搭載しているため、電源設備の整備状況を問わず稼動が可能。非常時におけるライフラインが切断された状況でも作業を行うことができます。

③想定される用途

災害復旧現場でのごみ処理活動や、最終処分場の掘り起こしごみ処理作業などでの用途を想定しています。機動的な現場活動を力強く支援します。



災害復旧現場



掘り起こしごみ処理現場

④主要緒元（※トラクタ部除く）

・サイズ（L×W×H）

走行時　：12,530mm×2,490mm×3,747mm

作業展開時　：13,547mm×3,425mm×4,801mm

・車両総重量　：28,000ｋｇ

・処理能力　：5～10t/h

【ご参考】

当社の破砕機（極東・トレマッシェ® ）の特長

当社の竪型粗大ごみ破砕機には次のような特長があります。

①竪型でシンプルな構造

自然落下を利用しており特別な装置を必要としないシンプルな竪型構造です。

②様々なごみの種類に対応

生ごみから粗大ごみまで、様々なごみを破砕することができます。

③安全な構造

破砕機の密閉度が少なく、ハンマーが高速回転しますので、破砕機内部でのガス滞留が少なく、爆発事故が起こりにくい構造です。

④高速式で土砂の分離が容易

ハンマーが高速回転し処理物を打撃するため、可燃物に付着した土砂等の不燃物を分離し易くします。

⑤経済的なシステム

消耗品であるハンマーの交換が効率よく行えるシステムのため、経済的です。

⑥スクリーン不要の排出口

破砕粒度はハンマー数とライナー形状で調整が可能なため、排出口に粒度調整スクリーンが不要。処理物の発熱や閉塞が発生しにくい構造です。

極東･トレマッシェ®破砕機
（42 型）

＜広報お問合せ先＞
極東開発工業株式会社　経営企画部
〒663-8545　兵庫県西宮市甲子園口 6－1－45
電話（0798）66－1500　ＦＡＸ（0798）66－8146
ホームページアドレス　http://www.kyokuto.com/